

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">書道史 B</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部 日文 2 年生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">永田 誠</p>
<p>授業テーマ</p> <p>日本の大和時代から現代に到る各時代の名品を鑑賞し、それを参考に創作する。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>日本の各時代の名品を鑑賞し、それを参考に創作することにより、日本の仮名の書美を体得し、芸術的にも実用的にも重要であることを認識し、高度な芸術的表現が出来る能力と豊かな情操を養う。</p>		
<p>評価方法</p> <p>毎時提出する作品、小テスト、鑑賞レポート、授業態度、出席重視。 3 回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。(遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。)</p>		
<p>テキスト</p> <p>技法講座付和漢書道史</p>	<p>著者</p> <p style="text-align: center;">永田峰亨</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <p>1                    奈良時代以前から奈良時代までの日本の金文・碑文・写経を鑑賞し、書道 A で学習した中国の六朝・晋唐の書風の影響を受けたことなどについて話し合う。</p> <p>2・3・4            平安時代初期・中期の三筆・三蹟の書を鑑賞 いろは歌を書く。(画仙紙)</p> <p>5・6・7・8        平安時代後期の和洋体の爛熟した書の鑑賞 変体仮名でいろは歌を書く。(画仙紙)</p> <p>9・10・11        鎌倉・室町・桃山・江戸時代の古筆手鑑・寛永の三筆の書の鑑賞 高野切・蓬萊切・升色紙を参考に創作する。(画仙紙)</p> <p>12・13・14・15   明治・大正・現代の書の鑑賞 自詠の俳句、短歌で創作する。(画仙紙)</p>		